まつもと・きちろう　浜松医科大卒。昭和63年、松本皮膚科形成外科医院（さいたま市見沼区）を開業。埼玉県医師会常任理事、日本医師会常任理事などを経て今年6月から現職。

日本医師会

赤ひげ大賞

地域で献身的な医療活動に取り組む医師を顕彰する「日本医師会　赤ひげ大賞」（主催・日本医師会、産経新聞社）が10年の歴史を刻み、今年で11年目を迎える。6月に日本医師会の会長に就任した松本吉郎氏と、特別協賛する太陽生命保険社長の副島直樹氏に賞の意義やかかりつけ医の重要性について語ってもらった。

そえじま・なおき　慶応大商学部卒。昭和56年、太陽生命保険入社。執行役員営業企画部長、副社長などを経て、平成31年4月から現職。

地域医療支える　かかりつけ医

日本医師会会長　松本吉郎氏　×　太陽生命保険社長　副島直樹氏

赤ひげ大賞の意義について改めてお聞かせください

松本氏　各地域で健康を中心に住民の生活を支え、地域医療に地道に取り組む医師の功績をたたえたいとの思いで始めたのがこの賞です。受賞者やその家族ばかりでなく、所属の医療機関のスタッフや患者さんにもとても喜ばれているようで、特別協賛の太陽生命保険をはじめ多くの関係者の支援のおかげでこの賞を続けてくることができて大変よかったと思っています。

副島氏　わが社は地域に密着して、各家庭で生活している方々を生命保険という制度を通して守るという使命を果たしていますが、地域に密着して患者さんとのコミュニケーションを大切にしているすばらしい先生方を応援できる機会をいただき、ご縁を感じています。地域で人と人とのコミュニケーションを大切にするという同じ志から、今後もこの賞にかかわりたいと思っています。

日本医師会の会長として、地域医療をどのようなものにしていきたいですか

松本氏　必要なときに必要な医療が受けられることが一番大事です。そして新型コロナウイルス感染症を経験して実感したことですが、平時のみならず有事の際でも必要な医療を受けられる態勢を整備することが求められています。それには国や自治体との協力がなければ実現できません。日本医師会の役割は国民の健康と命を守ることだと考えていますので、その実現のため、地域の声をもとにしてさまざまな提言を国に行っていきたいと考えています。

また、国民の皆さんにはぜひ、健康について何でも相談できるかかりつけ医を身近に見つけてもらいたいです。かかりつけ医を持ちたいと思っている方も多いと思いますが、「かかりつけ医を見つけたいが、どこにいるのか分からない」との意見もいただいていますので、情報提供についてもしっかり検討して周知していかなければならないと思っています。

医師と患者の信頼関係が大切

国民皆保険制度のもと、生命保険会社は社会保障制度を補完する役割を担うと聞きました

副島氏　私どもは社会保障を補完し、人々の自助自立を支えることを使命として生命保険会社を運営しています。

現在、わが国には少子高齢化という大きな課題がありますが、それらに対して保険商品・サービスとして提供することに積極的であるべきだと思っています。そのようななか、当社は業界に先がけて「認知症保険」を発売しました。現在は契約が80万件を超えるなど多くのお客さまにご好評をいただいています。

松本会長ご自身、かかりつけ医として長年、地域で地道に取り組んでこられるなかで心掛けてきたことなどはありますか

松本氏　中学生のころから、医師であった叔父に「医師というのは世の中や国民のためになるやりがいのある仕事だ」といわれ続け、高校生のときに医師を目指すことを決心しました。医師になって40年以上になりますが、〝この先生と話していると元気が出る〟とか〝前向きに病気とつき合っていける〟とか、患者さんにプラスの影響を与えられるような存在であることが大切だと思っています。もちろん、しっかりした医療の技量があってのことですが。

きょうも朝、多くの患者さんを診察してきましたが、月1回来られる患者さんから「この日を楽しみにしているんです」といった言葉をいただくと、うれしく思います。

日本医師会の会長といったら超多忙かと推察しますが、日々の診察も？

松本氏　新型コロナの感染が拡大し始めた2年数カ月前から、感染対策として私の医院でも診療時間を延長して、患者さんが集中しないよう朝6時から診察しています。もちろん、日本医師会の役員としてしっかり仕事をしないといけないので午後は一切診察できませんし、毎日というわけにもいきませんが、できる限り午前8時ぐらいまで診察しています。

会長として、大局的な仕事をすべきだという考え方と、現場で実践しながらその感覚を持って仕事をすべきだという考え方があります。どちらが正しいということはありませんが、私は現場のことを知りながら会長の務めを果たすということも大事だと考え、医療現場と会長職とのバランスに苦心しながら診療を続けています。

対談する日本医師会の松本吉郎会長（右）と太陽生命保険の副島直樹社長＝東京都文京区の日本医師会館（関勝行撮影）

副島氏　朝6時からとは敬服します。大局か現場かという考え方についてはおっしゃる通りで、両方ともとても重要です。私の感覚として3カ月くらい現場を見ていないと、もう分からなくなってきます。会長のように、現場の感覚を知りながら大所高所からしっかりやっていくという姿勢はすばらしいですね。コロナの影響で私もなかなかできていませんが、地方の営業現場にはできるだけ行きたいと思っています。

コロナ禍にこそ健診・検診を

コロナ禍におけるかかりつけ医の重要性についてお聞かせください

松本氏　コロナ禍で健診・検診や受診をする人が減りましたが、こういうときだからこそしっかり受診していただくことが大切です。がんのように早い段階で見つかるかどうかで治療成績が違ってくるような病気もあります。

また定期受診についていえば、私のところでもアトピー性皮膚炎の患者さんが受診を中断し、悪化したケースもありましたし、高血圧や糖尿病などの慢性疾患は、健康状態の確認をしっかり行わないと悪化してしまうことがありますので定期的にかかりつけ医に診てもらい、しっかりと治療していく必要があります。日本医師会としてもかかりつけ医の先生方がその機能の維持向上を図れるよう、さまざまな学習の場や教材を提供していきたいと考えています。

今後、赤ひげ大賞がどのように発展していってほしいと思いますか

副島氏　妻の父親が開業医だったので、義父の家に行くと、夜でも朝でも患者さんから電話がかかってきて往診に出かける姿をよく見てきました。そのため、国民皆保険制度の日本でかかりつけ医を持つということ、これがどれだけ国民生活の質を高めているかを身にしみて感じています。

この賞で顕彰される先生方はその究極の存在であるわけです。かかりつけ医を通じて全国一律で質の高い医療を提供してもらえること、そして会長もおっしゃるように、医師と患者さんが対面で心を通わせて信頼関係のうえで医療が行われる、これらがいかに大切かをこの賞を通して発信していければと思います。

松本氏　この賞により先生方の活躍を幅広く知らせていくことは、地域医療に将来携わろうとする若い医師を増やすことにもつながってきますし、国民の皆さんにも、このようなかかりつけ医に診てもらいたいと思っていただけると考えています。日本医師会の事業のなかでも大変重要なものの一つになっていますので、続けるだけでなく、この賞の周知にもさらに努めていきたいと思っています。

日本医師会　赤ひげ大賞

日本医師会と産経新聞社が共同で、地域に密着して人々の健康を支えている医師の功績をたたえ広く国民に伝えるとともに、次代の日本を支える地域医療の大切さをアピールする事業として平成24年に創設した。

全国の都道府県医師会から推薦された、病を診るだけでなく地域に根づき、その地域のかかりつけ医として生命の誕生からみとりまでさまざまな場面で住民の疾病予防や健康の保持増進に努める医師のなかから、選考会で毎年5人を「赤ひげ大賞」に選定し表彰している。第8回からは「赤ひげ功労賞」も設けられ、第10回は13人が受賞した。

江戸時代の小石川養生所を舞台に庶民の人生模様と「赤ひげ」と呼ばれる所長と青年医師との心の交流を描いた山本周五郎氏の『赤ひげ診療譚』にあやかって名付けられた。

元気！長生き！　太陽生命

変化の多いこの時代を太陽のように照らしたい

保険組曲Best　｜　保険組曲Best既成緩和
必要な保障を自分で組み合わせられる、保険の仕組み。健康に不安のある方にもご紹介できる商品もあります。

＼認知症は予防する時代です／
ひまわり認知症予防保険※
※この保険は、選択緩和型認知症診断保険に生存給付金特則を付加し、その予防給付金を認知症予防サービス等に活用いただきたいという思いから「ひまわり認知症予防保険」という愛称を使用しています。

＼がんや重大疾病を予防する／
ガン・重大疾病予防保険※
※この保険は、10大疾病保障保険に生存給付金特則を付加し、その予防給付金を疾病予防サービス等に活用いただきたいという思いから「ガン・重大疾病予防保険」という愛称を使用しています。

＼日帰り入院※でも給付金を受け取れます／
入院一時金保険
※日帰り入院とは、入院日と退院日が同じ日である入院です。

お客様をサポートする様々なサービス

＼お支払い手続きをその場でサポート／
かけつけ隊※
※本サービスには、訪問可能な地域、日時など所定の条件があります。

＼お客様の健康をアプリで増進！／
健康増進アプリ
▼Android™　▼iPhone
iPhoneは、Apple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。Android は Google LLC の商標です。

産婦人科医とつくりました
＼出産を控えるお母さんを応援する保険です／
出産保険

※商品詳細は、ご契約のしおり・約款等をご覧ください。

［資料のご請求・お問い合わせは］スマ保険専用ダイヤル　営業時間：月～金9時～18時／土・日9時～17時　※祝日・年末年始（12/30～1/4）は休業します。　0120-95-1528（通話無料）

太陽生命

さあ、保険の新次元へ。
T&D保険グループ